

わくわく中部

中部教育局社会教育担当より
令和8年8月6日発行



写真:ニイニゼミの羽化(琴浦町田越)

8月の体験活動イベント

1日(土)~23日(日)
8日(土)

夏休み自然科学展2026
鳥取県立高校・でかける体験入学
〜トトリ・ハイスクール・アドベンチャー2026〜
東郷湖でペルセウス座流星群を観察しよう
アフタヌーンコンサート

(倉吉博物館)
(倉吉パープルタウン)
(東郷湖羽合臨海公園)
(三朝バイオリン美術館)

子どもたちの体験活動を応援します!

ちゅうぶくんが行く!

中部のヒト・モノ・コトを訪ねて



灘手コミュニティセンター(倉吉市)



旧灘手小学校の隣にある灘手コミュニティセンターを訪問しました。この日は暑さを避けるため、朝7時から中学生が地域の方と一緒に腐葉土の袋詰め作業を行いました。

灘手コミュニティセンターでの腐葉土づくりは、中学生と地域の方が協力して5年前から続けられています。秋に灘手中央公園で集めた落ち葉を米ぬかと混ぜ、枠の中で発酵させることで腐葉土が作られます。今回袋詰めした腐葉土は、8月11日に開催される軽トラ市で販売される予定です。

中学生たちは地域の方から作業のコツを教わりながら、一つ一つ丁寧に袋詰めを進めていました。作業の合間には、地域の方と笑顔で言葉を交わす姿も見られ、中学生の素直さと地域の温かいつながりが感じられました!

早朝から、地域の方とともに汗を流す中学生の姿が、とても印象的でした。

こうした活動の積み重ねが、地域への愛着を育み、中学生が地域を支える大切な一員であるという自覚につながっていると感じました!



サラサラの腐葉土を袋に詰めていきます。



5kgピッタリになるように調整しています。



最後にテープで丁寧に袋を閉じていきます。

地域とともにある学校づくり



こども会議・学校運営協議会合同会議

7月7日(火) 浦安小学校

浦安小学校で、6年生児童と学校運営協議会による「こども会議・学校運営協議会合同会議」が、今年度も実施されました。

前半は、各班で話し合いを行いました。「誰もがつながり合う浦安地区にするために」をテーマに、児童は前時までにタブレットにまとめた自分の意見を班内で発表しました。各班には学校運営協議会委員が入り、児童の発表に対して助言を行いました。児童は、その助言や班員同士の意見をもとに話し合いを重ね、班としての考えを一つにまとめ、発表の準備を進めました。

後半は、6年生2クラスが集まり、各班が話し合いの成果を発表しました。多くの班が「どんな人でも楽しめること」を大切に活動提案しており、中には外国の方と一緒に楽しく活動できるワークショップを企画した班もありました。

最後に、学校運営協議会会長でもある、浦安地区公民館館長から、今回の6年生のアイデアを実現するため、実行委員会を立ち上げることが提案されました。今後は、夏休み中に実行委員会をスタートし、秋に準備を進め、冬に活動を実施する予定です。

この取組は、合同会議で話し合って終わるのではなく、子どもたち自身が実行委員会の一員となり、地域の方々と協働しながらアイデアの実現を目指すものです。子どもたちが主体となって地域づくりに参画する姿は、「地域とともにある学校づくり」を具現化する取組といえます。

子どもたちのアイデアが実行委員会でのように形となり、「誰もがつながり合う浦安地区」の実現につながっていくのか、これからの取組が楽しみです。



家庭教育支援



鳥取県PTA役員研修会

7月12日(日) 伯耆しあわせの郷

今年度のPTA役員研修会では東京から講師を招き、体験型情報リテラシー研修「レイのブログ」が実施されました。今回の研修は、PTA役員だけでなく「子どもたちと一緒に参加可」としたことで、小学校高学年から中高生まで約20名の子どもたちも参加し、親子で情報リテラシーについて学ぶことができる貴重な機会となりました。

「レイのブログ」は、インターネット検索を活用し、情報の真偽を確かめる「ファクトチェック」を重ねながら進める謎解きゲームです。参加者は3~4人のグループに分かれ、スマートフォンやタブレットを手に協力して情報を収集しました。検索結果を比較したり、情報の発信元などを確認したりしながら、「本当に信頼できる情報なのか」を話し合い、力を合わせて謎解きに挑戦しました。

一見すると正しいように思える情報でも、複数の情報源を照らし合わせて確認することの大切さや、インターネット上には誤った情報や、不確かな情報が含まれていることを、ゲームを通して実感することができました。また、「検索したらすぐに答えを信じる」のではなく、「なぜそう言えるのか」「情報の根拠は何か」を考えることの大切さについても学びました。

情報化が急速に進む現代において、情報を主体的に見極め、適切に活用する力は欠かせません。今回の研修は、親子で情報との向き合い方について考え、家庭でもインターネットの利用や情報の受け止め方について話し合うきっかけとなる、有意義な機会となりました。

講師は「レイのブログ」を開発・運営している会社の25歳の方でした。若い講師の進行のもと、会場は終始活気にあふれていました。

大人はもちろん、子どもにとっても、学びの多い研修会となりました!



【トピックス】「中高生サークルが地域の祭りで出店！」

7月25日に開催された「おがも笑顔のまつり」で、小鴨地区の高校生サークル「とらうさ8(エイト)」と、中学生サークル「いにいさ13(サーティーン)」が出店しました。自分たちでデザインしたオリジナルTシャツを着て、「とらうさ8」は焼き鳥とジュースを、「いにいさ13」はトッピング付きアイスクリームを販売しました。「とらうさ8」は商品の仕入れから担当し、焼き鳥も自分たちで焼いて販売しました。焼き鳥は行列ができるほどの盛況ぶりで大好評でした。「いにいさ13」のアイスクリームは、暑さも手伝って見事に完売しました。

「おがも笑顔のまつり」では、その他にも多数の中高生ボランティアの活躍する姿が見られました。中高生の皆さんが生き生きと活動する姿は、地域の皆さんにも元気と活力を与えているようでした。活動を通して中高生は地域への愛着や達成感を育み、目覚ましい成長を遂げています。世代を超えたつながりと賑わいが、小鴨地区の大きな魅力になっていると感じました。

